

照姫まつりの警戒活動に参加

4月21日(日)第37回照姫まつりが盛大に開催されました。華やかな照姫行列やステージ、物産展の販売など盛りだくさんの内容で、ステージでは消防署員によるダンスが披露され大勢の方が楽しまれていました。また石神井消防団では、団員により会場、パレードの警戒、消火訓練、広報活動を行いました。



はたらく消防の写生会へ参加

毎年4月中旬から5月中旬で、東京消防庁と東京連合防火協会の共催により、「はたらく消防の写生会」が行われ、石神井消防団も石神井消防署と共に参加しました。

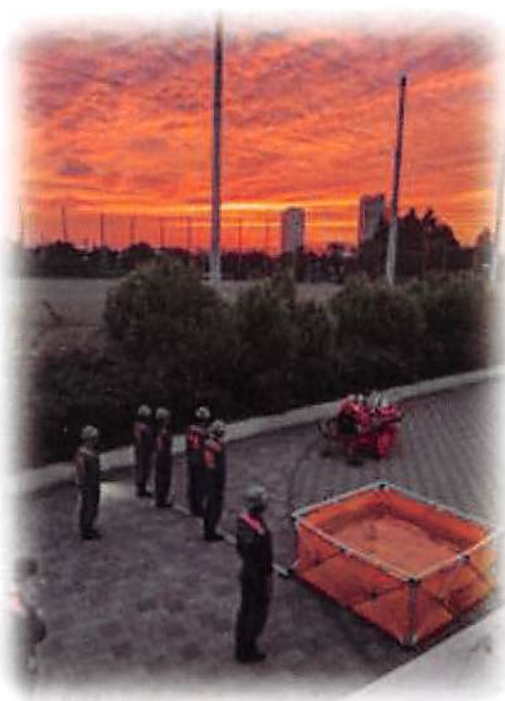
写生会に出向した団員の中には、火災出場の時に着用する防火衣を着てモデルを務めた団員もあり、また先生にも防火衣を試着して頂いたり気温の高い日は暑くて大変でしたが、子ども達が一生懸命描く姿を見られたり、子ども達からの質問攻めにあったりと、僅かな時間でしたが触れ合う事が出来て、最後には「また来てね!」と何人も声を掛けてもらいました。



消防操法大会を挙行

優勝は第10分団

6月1日(土)に第49回消防操法大会が石神井公園野球場で実施されました。昨年は天候不順で中止になりましたが一年ぶりとなった今年は天気に恵まれ、選手の皆さんも日頃の練習の成果を大いに発揮できました。



上級救命講習を実施

8月3日、4日、10日に初受講と再受講団員に分かれて、石神井消防署で上級救命講習会が行われました。

講義と救命処置の実技等を受講しました。受講した団員はいざという時にお役に立つよう、真剣に取り組みました。



地域の防災訓練にて防災指導

8月4日(日)西大泉連合町会の防災訓練が行われました。初期消火訓練や、消火栓にスタンドパイプを立て、消火活動訓練を行いました。猛暑の中、皆さん積極的に取り組み、消火栓の開け方及び、スタンドパイプの立て方を地域の皆様に教えました。



練馬区内消防団合同点検を挙行



9月14(土)に練馬区内消防団合同点検が行われました。
この点検は、平素の訓練で培った災害対応能力及び士気について、消防総監の点検を受けるとともに、地域の方々に消防団の活動を紹介し、理解を深めることを目的として行っています。

今年度の活動指針では、首都直下地震等における同時多発火災に備え消防団が単独でも主体的に災害活動できるよう、情報収集、救出救護、消火活動をより実践的なかたちで実施しました。



水害の時期に備え 水防訓練を実施

5月18日(土)に練馬区総合水防訓練が実施されました。年々多様化する災害に備え、練馬区と区内の3つの消防団・消防署が連携した訓練を実施しました。



新入団員研修を実施



7月7日(日)、新たに入団した17名の団員に対して新入団員研修が石神井消防署に於いて実施しました。

研修では消防団について座学や礼式をはじめ、放水訓練も実施し気温が34度を超える中、火災出場時の防火衣を着て訓練に励みました。



わが町をわが手で守る 消防団

わが町をわが手で守る 消防団

わが町をわが手で守る 消防団

新入団員の声

自分は今救命士を目指す大学に通っています。将来は消防士になりたいと思ひ勉強をしているのですが、入学して少し経った頃に先生から消防団の存在を教えられました。少しでも消防の事に関わりたいたと思った私はすぐに消防団に入団する手続きを行いました。

入団してからは自分の親と同じくらいの人ばかりで不安でしたが皆さんとても親切でとても楽しく活動しています。今年には操法大会に選手として参加しています。練習はとも大変ですが何もわからない自分に皆さん親切に教えてくれます。大会では良い成績を残せるように練習に励んでいきたいと思ひます。今後も消防団の活動に精力的に取り組み将来に役立てていきたいです。

第八分団 畑田新珈 団員

石神井消防団員募集

守りたい町がある。守りたい人がいる。
我々と出来る時に出来ることから始めよう

消防団への入団条件は

※ 管内在住・在勤の年齢18歳以上の健康な方 ※

入団についてのお問い合わせ先

石神井消防団事務局（石神井消防署内）

☎ 03-3995-0119

分団受け持ち区域

第一分団	富士見台地区
第二分団	南大泉地区
第三分団	石神井町・下石神井地区
第四分団	上石神井地区
第五分団	関町・立野町地区
第六分団	東大泉地区
第七分団	西大泉地区
第八分団	大泉町・大泉学園町地区
第九分団	南田中地区
第十分団	石神井台地区